

## 第5章 重点的に取り組む内容

健康寿命の延伸を図るため、本県では、平成30年に行政、医療保険者、保健・医療関係団体、企業・経営者団体、地域団体、マスコミなどの多様な主体で構成する「ふくおか健康づくり県民会議」を設置し、それぞれの役割の下、「健（検）診受診率の向上」「食生活の改善」「運動習慣の定着」を取組の柱として、連携を図りながら一体的に県民運動として健康づくりを推進しています。

そこで、県では、次のことについて重点的に取り組めます。

### 1 健（検）診受診率の向上

- ・ 受診率向上に有効な各保険者の優良な取組を情報共有するとともに、効果的な啓発を行うことにより、自主的な受診を促します。
- ・ 身近な地域で特定健康診査とがん検診を同時に実施できる「総合健診」を推進します。
- ・ 市町村、保険者、健診実施機関、職域関係者等と連携し、受診強化月間における集中的な啓発活動を行います。

### 2 食生活の改善

- ・ バランスの良い適正な量の食事摂取や、野菜や果物の積極的な摂取など、食生活の改善が生活習慣病予防や重症化予防の基本となることについて普及啓発します。
- ・ 企業や大学等の関係者と一体となり、減塩の方法や工夫などの情報を発信するなど、減塩に取り組みやすい環境を整備します。
- ・ 学校や家庭、民間団体等と連携し、こどもの頃から健全な生活習慣を身につけるための食育を推進します。

### 3 運動習慣の定着

- ・ 適度な運動の継続が、脳卒中や心血管疾患などの生活習慣病の予防につながることを普及啓発します。
- ・ 始めやすく継続しやすい運動（スロージョギング、ウォーキング、筋トレ等）を広く周知し運動の習慣化を促します。
- ・ ふくおか健康ポイントアプリの魅力を高めるなどにより、ウォーキング等の運動を習慣化しやすい環境をつくります。

## 第6章 計画の推進体制

健康づくりの取組には、個人の取組や、行政、医療保険者などの各主体の取組だけでは解決できないものもあるため、計画に掲げる健康づくりの取組は、「行政」、「医療保険者」、「保健・医療関係団体」、「企業・経営者団体」、「地域団体」、「マスコミ」等、多様な主体で構成する健康づくりの「県民会議」を中心として、それぞれの役割の下、密接な連携を図りながら「県民運動」として一体的に推進していきます。

取組の推進に当たっては、食育・地産地消県民運動などの関連する県民運動と連携を図るとともに、県庁内においては、関係部署と連携・協力を行います。

この計画の中間評価及び次期計画の策定等に当たっては、学識経験者、関係機関、関係団体の専門家等で構成する「いきいき福岡健康づくり推進協議会」を活用し、専門的・技術的助言を求めます。

また、地域においては、地域・職域連携会議を活用し、健康づくりに携わる関係者それぞれの役割を確認するとともに、連携促進のための方策等について協議します。

その上で、「県民会議」において、本県における計画の進捗管理も含め、健康づくりの取組を一体的に推進します。

## 資料編

- 1 福岡県健康増進計画（令和6～17年度）の目標項目一覧
- 2 福岡県健康増進計画（平成25～令和5年度）の評価一覧
- 3 いきいき福岡健康づくり推進協議会委員名簿

# 1 福岡県健康増進計画(令和6～17年度)の目標項目一覧

区分	項目	年代・性別	現状値 (R4年度)	ベースライン値 (R4年度)	目標値 (R16年度)	目標値設定の 考え方	現状値の出典
<b>●健康寿命の延伸</b>							
健康 寿命	① 健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性	72.22年 (R1年)	72.22年 (R1年)	平均寿命の増加分を 上回る健康寿命の増加	I	「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」 (厚生労働科学研究)
		女性	75.19年 (R1年)	75.19年 (R1年)			
<b>●個人の行動と健康状態の改善</b>							
<b>○生活習慣の改善の推進</b>							
栄養・ 生活	① 適正体重を維持している者の増加						
	肥満者(BMI25以上)の割合の減少	20～60歳代 男性	34.4%	34.4%	28%	I	県民健康づくり調査
		40～60歳代 女性	12.9%	12.9%	11%	II	
	やせの者(BMI18.5未満)の割合の減少	20～30歳代 女性	19.4%	19.4%	18%	I	
	低体重者(BMI20以下)の割合の増加の抑制	65歳以上	18.2%	18.2%	22%	II	
	② バランスの良い食事を摂っている者の増加 (主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2 回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加)						
		20歳以上	71.1%	71.1%	80%	I	県民健康づくり調査
	③ 野菜摂取量の増加						
		20歳以上	253g	253g	350g	I	県民健康づくり調査
	④ 果物摂取量100g未満の者の割合						
	20歳以上	63.6%	63.6%	30%	I	県民健康づくり調査	
⑤ 食塩摂取量の減少							
	20歳以上 男性	10.0g	10.0g	7g	III	県民健康づくり調査	
	20歳以上 女性	8.7g	8.7g				
⑥ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)							
	—	80.6% (R3年)	79.3%	ベースライン値から増加	II	衛生行政報告例 (厚生労働省)	
身体活動・ 運動	① 日常生活における歩数の増加						
		20～64歳 男性	7,318歩	7,318歩	8,000歩	III	県民健康づくり調査
		20～64歳 女性	6,395歩	6,395歩			
		65歳以上 男性	4,760歩	4,760歩	6,000歩		
		65歳以上 女性	4,791歩	4,791歩			
	② 運動習慣がある者の増加						
		20～64歳 男性	22.7%	22.7%	30%	III	県民健康づくり調査
		20～64歳 女性	12.7%	12.7%			
		65歳以上 男性	38.3%	38.3%	50%		
		65歳以上 女性	30.9%	30.9%			
③ 運動やスポーツを習慣的に行っていない子どもの減少(1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合)							
小学生	男子	8.5%	8.5%	ベースライン値から減少	V (全国平均)	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査	
	女子	15.0%	15.0%				
	男子	8.7%	8.7%				
	女子	20.5%	20.5%				
中学生	男子	8.7%	8.7%	ベースライン値から減少	V (全国平均)	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査	
	女子	20.5%	20.5%				
	男子	8.7%	8.7%				
	女子	20.5%	20.5%				
<b>休養・睡眠</b>							
① 睡眠で休養がとれている者の割合の増加							
	20歳以上	79.1%	79.1%	85%	I	県民健康づくり調査	
② 睡眠時間が十分に確保できている者の割合増加							
	6時間以上9時間未満	20～59歳	58.1%	58.1%	66.8%	III	県民健康づくり調査
	6時間以上8時間未満	60歳以上	50.5%	50.5%	58.0%		
③ 週労働時間60時間以上の雇用者の減少 (週労働時間 40時間以上の雇用者のうち、週 労働時間 60時間以上の雇用者の割合)							
	—	9.0%	9.0%	5% (R14年)	III	就業構造基本調査	
飲酒	① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少(1日当たり純アルコール量男性 40g以上、女性20g以上)						
	男性	13.6%	13.6%	13% (R8年度)	IV	県民健康づくり調査	
女性	9.2%	9.2%	6.4% (R8年度)				
喫煙	① 20歳以上の者の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)						
	—	16.0%	16.0%	12%	IV	県民健康づくり調査	
	② 妊娠中の喫煙率の減少						
	—	3.6% (R3年度)	3.6% (R3年度)	妊娠中の喫煙をなくす	III	こども家庭庁 母子保健 健康調査 乳幼児健康 診査問診回答状況	
	③ 望まない受動喫煙の機会を有する者の割合の減少						
	家庭	—	7.6%	7.6%	望まない受動喫煙のない 社会の実現	III	県民健康づくり調査
職場	—	24.2%	24.2%				
飲食店	—	12.3%	12.3%				
④ COPD認知度の向上							
—	—	33.9%	33.9%	80%	I	県民健康づくり調査	

区分	項目	年代・性別	現状値 (R4年度)	ベースライン値 (R4年度)	目標値 (R16年度)	目標値設定の 考え方	現状値の出典	
<b>〇生活習慣病等の早期発見、発症予防と重症化予防の推進</b>								
がん	① がんの年齢調整罹患率の減少(人口10万人当たり)	—	396.3 (R1年)	396.3 (R1年)	ベースライン値から減少 (R11年度)	Ⅳ	全国がん登録都道府県別がん罹患率データ	
	② がんの75歳未満年齢調整死亡率の減少(人口10万人当たり)	—	71.8 (R4年)	71.8 (R4年)	6年間で 12%減少	Ⅳ	がん情報サービス「がん統計」都道府県別がん死亡データ	
	③ がん検診の受診率の向上							
	胃がん	40～69歳	40.4% (R4年)	40.4% (R4年)	60% (R11年度)	Ⅳ	国民生活基礎調査による都道府県別がん検診受診率データ	
	肺がん	40～69歳	44.4% (R4年)	44.4% (R4年)				
	大腸がん	40～69歳	42.1% (R4年)	42.1% (R4年)				
子宮頸がん	20～69歳	42.6% (R4年)	42.6% (R4年)					
乳がん	40～69歳	44.7% (R4年)	44.7% (R4年)					
循環器病	① 脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万人当たり)							
	脳血管疾患	男性	86.7 (R2年)	86.7 (R2年)	ベースライン値から減少	Ⅲ	人口動態統計特殊報告(厚生労働省)	
		女性	47.7 (R2年)	47.7 (R2年)				
	心疾患	男性	143.7 (R2年)	143.7 (R2年)				
		女性	89.7 (R2年)	89.7 (R2年)				
	② 高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	40～89歳 男性	130mmHg	130mmHg	ベースライン値から減少	Ⅱ	県民健康づくり調査	
		40～89歳 女性	128mmHg	128mmHg				
	③ 脂質異常症の減少	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合の減少	40～79歳 男性	12.7%	12.7%	ベースライン値から25% の低下	Ⅲ	県民健康づくり調査
			40～79歳 女性	21.2%	21.2%			
		LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合の減少	40～79歳 男性	6.8%	6.8%			
40～79歳 女性			9.5%	9.5%				
④ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	—	12.2% (R3年)	12.2% (R3年)	平成20年度と比べて 25%以上の減少 (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)		
⑤ 特定健康診査の実施率の向上	—	51.9% (R3年)	51.9% (R3年)	70% (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)		
⑥ 特定保健指導の実施率の向上	—	26.0% (R3年)	26.0% (R3年)	45% (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)		
糖尿病	① 治療継続者の割合の増加	—	68.4%	68.4%	75%	Ⅲ	県民健康づくり調査	
	② 血糖コントロール不良者の減少(HbA1c8.0%以上の者の割合)	—	14.4%	14.4%	10.8%	Ⅲ	県民健康づくり調査	
	③ 糖尿病有病者の増加の抑制	40～74歳 男性	37.0%	37.0%	ベースライン値から減少	Ⅰ	県民健康づくり調査	
		40～74歳 女性	19.8%	19.8%				
	④ 糖尿病予備群の増加の抑制	40～74歳 男性	5.4%	5.4%	ベースライン値から減少	Ⅰ	県民健康づくり調査	
		40～74歳 女性	11.5%	11.5%				
	⑤ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少(再掲)	—	12.2% (R3年)	12.2% (R3年)	平成20年度と比べて 25%以上の減少 (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)	
	⑥ 特定健康診査の実施率の向上(再掲)	—	51.9% (R3年)	51.9% (R3年)	70% (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)	
⑦ 特定保健指導の実施率の向上(再掲)	—	26.0% (R3年)	26.0% (R3年)	45% (R11年度)	Ⅰ	特定健康診査・特定保健指導の実施状況(厚生労働省)		
⑧ 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	—	725人 (R3年)	725人 (R3年)	570人	Ⅲ	わが国の慢性透析療法の現況(日本透析医学会)		

区分	項目	年代・性別	現状値 (R4年度)	ベースライン値 (R4年度)	目標値 (R16年度)	目標値設定の 考え方	現状値の出典
生活機能	① ロコモティブシンドロームを認知している県民の割合の増加	—	44.9%	44.9%	80%	I	ロコモティブシンドローム認知度調査報告書
	② 足腰に痛みのある65歳以上の者の割合の減少(千人当たり)	—	230人	230人	210人	III	国民生活基礎調査(厚生労働省)
	③ 骨粗鬆症検診受診率の向上	女性	2.7% (R3年)	2.7% (R3年)	14%	III	地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)(厚生労働省)
こころの健康	① 地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合の増加	—	50.0%	50.0%	60%	I	県民健康づくり調査
	② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加	—	25.3%	25.3%	30%	II	県民健康づくり調査
	③ 心のサポーター数の増加	—	54人	54人	1,000人	V (年間80人程度養成)	こころの健康づくり推進室による把握
	④ 自殺者の減少(10万人当たり)	—	17.4	17.4	12.5以下 (R8年度)	IV	人口動態統計(厚生労働省)
歯・口腔の健康	① 3歳児でう蝕のない者の割合の増加	—	88.8% (R3年)	88.8% (R3年)	95% (R11年度)	IV	地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)
	② 12歳児の一人平均う蝕等数の減少	—	0.9本 (R3年)	0.9本 (R4年)	0.6本 (R11年度)	IV	学校保健統計調査(文部科学省)
	③ 歯周病を有する者の減少(40歳で歯周炎を有する者の割合の減少)	—	43.3% (R3年)	42.4% (R4年)	30% (R11年度)	IV	歯周疾患検診結果(福岡県)
	④ 60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	—	88.3% (R3年)	89.9% (R4年)	95% (R11年度)	IV	歯周疾患検診結果(福岡県)
	⑤ 65歳以上でかみにくくと自覚症状がある者の割合の減少	—	5.0% (R4年)	5.0% (R4年)	4% (R11年度)	IV	国民生活基礎調査(厚生労働省)
	⑥ 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	—	45.5% (R4年)	45.5% (R4年)	70% (R11年度)	IV	歯科疾患実態調査(厚生労働省)
	⑦ 過去1年間に歯科受診(検診を含む)した者の割合の増加	—	59.0% (R4年)	59.0% (R4年)	70% (R11年度)	IV	県民健康づくり調査
<b>●個人の健康づくりを支えるための環境づくりの推進(自然に健康になれる環境づくり)</b>							
環境づくり	① 「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」の登録推進	—	8,930社	8,930社	12,000社 (R6年度)	IV	健康増進課による把握
	② 望まない受動喫煙の機会を有する者の割合の減少(再掲)						
	家庭	—	7.6%	7.6%	望まない受動喫煙のない社会の実現	III	県民健康づくり調査
	職場	—	24.2%	24.2%			
	飲食店	—	12.3%	12.3%			
③ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)(再掲)	—	80.6% (R3年)	79.3%	ベースライン値から増加	II	衛生行政報告例(厚生労働省)	
<b>●ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進</b>							
こどもの健康	① 朝食を毎日食べる習慣が定着している小・中学生の割合の増加						
	小学生	—	92.4%	92.4%	全国平均以上	I	全国学力・学習状況調査福岡県学力調査調査結果報告書
	中学生	—	90.6%	90.6%			
	② 運動やスポーツを習慣的に行ってないこどもの減少(1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合)(再掲)						
	小学生	男子	8.5%	8.5%	ベースライン値から減少	V (全国平均)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	女子	15.0%	15.0%				
中学生	男子	8.7%	8.7%				
	女子	20.5%	20.5%				
高齢者の健康	① 65歳以上の低体重者(BMI20以下)の割合の増加の抑制(再掲)	—	18.2%	18.2%	22%	II	県民健康づくり調査
	② 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人あたり)(再掲)	—	230人	230人	210人	III	国民生活基礎調査(厚生労働省)
	③ 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加(65歳以上)	—	30.9%	30.9%	35%	III	県民健康づくり調査

区分	項目	年代・性別	現状値 (R4年度)	ベースライン値 (R4年度)	目標値 (R16年度)	目標値設定の 考え方	現状値の出典
女性の健康	① 20～30歳代女性のやせの者(BMI18.5未満)の割合の減少(再掲)	—	19.4%	19.4%	18%	I	県民健康づくり調査
	② 全出生数中の低出生体重児の割合の減少	—	9.7%	9.7%	ベースライン値から減少 (R11年度)	III	人口動態統計 (確定数)
	③ 骨粗鬆症検診受診率の向上(再掲)	女性	2.7% (R3年)	2.7% (R3年)	14%	III	地域保健・健康増進 事業報告(健康増進 編)(厚生労働省)
	④ 生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を 飲酒している女性の減少(再掲)	—	9.2%	9.2%	6.4% (R8年度)	IV	県民健康づくり調査
	⑤ 妊娠中の妊婦の喫煙率の減少(再掲)	—	3.6% (R3年度)	3.6% (R3年度)	妊娠中の喫煙 をなくす	III	こども家庭庁 母子保 健課調査 乳幼児健 康診査問診回答状況

【目標設定の考え方】

- I 前計画期間で改善が見られなかったもの、改善が見られたが、目標値に及ばなかったものなど、前計画の目標値をそのまま設定。
- II 前計画期間で改善が見られ、更に改善が見込まれるものなど、前計画を上回る目標値を設定。
- III 本計画において新たに目標項目を設定したもの、国が新たに目標値を設定したものなど、国の計画等の目標値を踏まえて設定。
- IV 本計画に関連する県の他計画(循環器病対策推進計画等)の目標値を設定。
- V その他

## 2 福岡県健康増進計画(平成25～令和5年度)の評価一覧

区分	項目	年代・性別	ベースライン値 (H22年)	目標 (R4年度)	現状値 (R1年)	判定区分	出典	
●健康寿命の延伸								
健康 寿命	① 健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性	69.67年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	72.22年	A	「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」 (厚生労働科学研究)	
		女性	72.72年		75.19年	A		
●主要な生活習慣病の早期発見、発症予防と重症化予防の推進								
がん	① 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	—	80.5 (H28年)	5年間で8%以上の減少	71.1 (R3年)	A	がん情報サービス「がん統計」(人口動態統計) 都道府県別がん死亡データ(1995年～2021年) (国立がん研究センター)	
		40～69歳	胃がん 28.5%					50%以上
	40～69歳	肺がん 19.1%	肺がん 44.5%	B				
	40～69歳	大腸がん 21.1%	大腸がん 38.5%	B				
	20～69歳	子宮(頸部)がん 34.7%	子宮(頸部)がん 39.6%	B				
	40～69歳	乳がん 34.4%	乳がん 44.3%	B				
循環器 疾患	① 脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少							
	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	43.7 (H22年)	36.8	33.6 (H27年)	A	人口動態統計特殊報告 (厚生労働省)	
		女性	24.0 (H22年)					22
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	26.9 (H22年)	23.2	18.4 (H27年)	A		
		女性	11.6 (H22年)					10.4
	② 高血圧の改善(収縮期血圧の推計平均値の低下)	40～89歳 男性	137.1mmHg	134mmHg	130mmHg	A		県民健康づくり調査 (福岡県)
		40～89歳 女性	133.1mmHg	129mmHg	128mmHg	A		
	③脂質異常症の減少							
	総コレステロール240mg/dl以上の者の割合	40～79歳 男性	26.2%	19.7%	12.7%	A	県民健康づくり調査 (福岡県)	
		40～79歳 女性	33.9%					25.4%
	LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合	40～79歳 男性	21.0%	15.8%	6.8%	A		
		40～79歳 女性	28.3%					21.2%
	④ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率)	—	—	H20年度と比べて25%以上の減少	12.2% (R3年)	B		特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (厚生労働省)
⑤ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上								
特定健康診査実施率	—	39.0% (H22年)	70%以上	51.9% (R3年)	B	特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (厚生労働省)		
特定保健指導実施率	—	14.3% (H22年)	45%以上	26.0% (R3年)	B			



区分	項目	年代・性別	ベースライン値 (H23年)	目標 (R4年度)	現状値 (R4年)	判定	出典	
糖尿病	① 糖尿病有病者及び予備群の割合の減少							
	有病者	40～74歳 男性	8.1%	8.1%以下	37.0% (参考値)	D	県民健康づくり調査 (福岡県)	
		40～74歳 女性	5.1%	5.1%以下	19.8% (参考値)	D		
	予備群	40～74歳 男性	12.0%	12.0%以下	5.4%	A		
		40～74歳 女性	10.4%	10.4%以下	11.5%	D		
	② メタボリックシンドロームの該当者 及び予備群の減少率(特定保健指導 対象者の減少率)(再掲)		—	—	H20年度と比べて25% 以上の減少	12.2% (R3年)	B	特定健康診査・特定保 健指導の実施状況 (厚生労働省)
	③ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上(再掲)							
	特定健康診査実施率		—	39.0% (H22年)	70%以上	51.9% (R3年)	B	特定健康診査・特定保 健指導の実施状況 (厚生労働省)
特定保健指導実施率		—	14.3% (H22年)	45%以上	26.0% (R3年)	B		
④ 合併症(糖尿病性腎症による年間 新規透析導入患者数)の減少		—	731人 (H22年)	670人	725人 (R3年)	C	わが国の慢性透析療 法の現況 (日本透析医学会)	
⑤ 治療継続者の割合の増加		—	53.1%	65.0%	68.4%	A	県民健康づくり調査 (福岡県)	
⑥ 血糖コントロール指標におけるコン トロール不良者の割合の減少(HbA1 cがNGSP値8.4%(JDS値8.0%)以上 の者の割合の減少)		20歳以上	0.8%	0.8%以下	14.4% (参考値)	D		
●ライフステージに応じた健康づくりの推進								
次 世 代 の 健 康	① 朝食を毎日食べる習慣が定着して いる児童の割合の増加	—	—	全国平均以上	福岡県 92.4% (全国平均:94.4%)	C	全国学力・学習状況調 査福岡県学力調査 調 査結果報告書 (福岡県)	
高 齢 者 の 健 康	① 低体重者(BMI20以下)の高齢者 の割合の増加の抑制	65歳以上	14.9% (H23年)	24% (R2年)	18.2%	A	県民健康づくり調査 (福岡県)	
	② ロコモティブシンドローム(運動器症 候群)を認知している県民の割合の増加	—	17.3% (参考値、H24年)	80%	44.9%	B	「ロコモティブシンドローム」認 知度調査 報告書 (公益財団法人 運動器の健 康・日本協会)	
	③ 足腰に痛みのある高齢者の割合の 減少(千人当たり)	男性	238人	210人	215人	B	国民生活基礎調査 (厚生労働省)	
女性		297人	270人	254人	A			
の こ 健 こ 康 ろ	① 自殺者の減少(10万人当たり)	—	24.3	14.4以下	17.4 (R4年)	B	人口動態統計 (厚生労働省)	
●生活習慣の改善の推進								
栄 養 ・ 食 生 活	① 適正体重を維持している者の増加							
	ア 肥満者(BMI25以上)の割合の減少	20～60歳代 男性	30.0%	28%	34.4%	D	県民健康づくり調査 (福岡県)	
		40～60歳代 女性	18.5%	16%	12.9%	A		
	イ やせ(BMI18.5未満)の割合の減少	20～30歳代 女性	25.0%	18%	19.4%	B		
	② 適切な量と質の食事をとる人の増加							
	ア 主食・主菜・副菜を組み合わせた食 事が1日2回以上の日がほぼ毎日の 者の割合の増加	20歳以上	68.6%	80%	71.1%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)	
イ 食塩摂取量の減少	男性	10.8g	8g	10.0g	B			
	女性	8.9g	7g	8.7g	B			

区分	項目	年代・性別	ベースライン値 (H23年)	目標 (R4年度)	現状値 (R4年)	判定	出典
栄養・食生活	ウ 野菜と果物の摂取量の増加						
	野菜摂取量の平均	20歳以上	259g	350g	253g	C	県民健康づくり調査 (福岡県)
	果物摂取量100g未満の者の割合	20歳以上	64.4%	30%	63.6%	C	
	③ ヘルシーメニューや食に関する健康づくり情報の提供に取り組む飲食店の増加	—	40店舗 (参考値、H24年)	3,600店舗	1,744店舗	B	福岡県健康増進課による把握 ※1,279店舗(H29時点)
④ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加(管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合)	—	69.0%	80%	80.6% (R3年)	A	衛生行政報告例 (厚生労働省)	
身体活動・運動	① 日常生活における歩数の増加	20～64歳 男性	7,839歩	9,000歩	7,318歩	D	県民健康づくり調査 (福岡県)
		20～64歳 女性	7,305歩	8,500歩	6,395歩	D	
		65歳以上 男性	6,584歩	7,000歩	4,760歩	D	
		65歳以上 女性	5,531歩	6,000歩	4,791歩	D	
	② 運動習慣者の割合の増加	20～64歳 男性	30.4%	36.0%	22.7%	D	
		20～64歳 女性	29.1%	33.0%	12.7%	D	
		65歳以上 男性	48.5%	58.0%	38.3%	D	
		65歳以上 女性	43.2%	48.0%	30.9%	D	
休養	① 睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	20歳代以上	18.1%	15.0%	20.9%	D	県民健康づくり調査 (福岡県)
飲酒	① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少	男性	15.2%	12.9%	13.6%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)
		女性	8.1%	6.9%	9.2%	D	
喫煙	① 成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	—	23.6% (H25年)	13.0%	16.0%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)
	② 受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少						
	行政機関	—	10.3%	0.0%	4.5%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)
	医療機関	—	6.8%	0.0%	3.6%	B	
	職場	—	48.8%	受動喫煙のない 職場の実現(R2年度)	24.2%	B	
	家庭	—	16.2%	5.0%	7.6%	B	
	飲食店	—	50.1%	16.0%	12.3%	A	
③ COPDの認知度の向上	—	25% (参考値)	80%	33.9%	B	COPD認知度把握調査 (一般社団法人GOLD 日本委員会) 県民健康づくり調査 (福岡県)	

区分	項目	年代・性別	ベースライン値 (H23年)	目標 (R4年度)	現状値 (R4年)	判定	出典	
歯・口腔の健康	① 口腔機能の維持・向上(60歳代における咀嚼良好者の割合の増加)	—	86.6%	90% (H30年度)	82.5%	D	県民健康づくり調査 (福岡県)	
	② 歯の喪失防止							
	ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	—	50.0%	60% (H30年度)	66.7% (H28年)	A	歯科疾患実態調査 (厚生労働省)	
	イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	—	66.7%	70% (H30年度)	88.3% (R3年)	A	歯科疾患実態調査 (厚生労働省) 歯周疾患検診調査 (福岡県)	
	③ 40歳で進行した歯周炎を有する者の割合の減少	—	44.9%	35% (H30年度)	43.3% (R3年)	B	歯周疾患検診調査 (福岡県)	
	④ 乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加							
	ア 3歳児でう蝕のない者の割合の増加	—	77.3%	80%	88.8% (R3年)	A	地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)	
	イ 12歳児の一人平均歯数の減少	—	1.4歯	1.0歯	0.9歯 (R3年)	A	学校保健統計調査 (文部科学省)	
⑤ 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	—	51.9%	60%	59.0%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)		
●個人の健康づくりを支えるための環境づくりの推進								
環境づくり	① 地域のつながりの強化(居住地域でお互いに助け合っていると思う県民の割合の増加)	—	47.0%	60%	50.0%	B	県民健康づくり調査 (福岡県)	
	② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加(健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合)	—	3.3%	25%	25.3%	A	県民健康づくり調査 (福岡県) 社会生活基礎調査 (総務省)	

### 3 いきいき福岡健康づくり推進協議会委員名簿

氏 名	所 属 ・ 役 職
有村 康	福岡産業保健総合支援センター 副所長
太田 雅規	福岡女子大学国際文理学部 教授
大部 正代	公益社団法人福岡県栄養士会 会長
掛川 秋美	公益社団法人福岡県看護協会 常任理事
梶原 浩	公益社団法人福岡県歯科医師会 理事
高木 淳一	公益社団法人福岡県薬剤師会 副会長
○ 田中 眞紀	公益社団法人福岡県医師会 理事
◎ 二宮 利治	九州大学大学院医学研究院 教授
檜垣 靖樹	福岡大学スポーツ科学部 教授
古庄 美樹	日本健康運動指導士会 福岡県支部 理事

※◎印は会長、○印は副会長

(50音順 敬称略)

福岡県健康増進計画（いきいき健康ふくおか 21）

印刷・発行 令和6年3月  
発行者 福岡県保健医療介護部健康増進課  
〒812-8577  
福岡市博多区東公園7番7号  
TEL : 092-643-3269



# 福岡県

福岡県行政資料	
分類記号 GB	所属コード 4400200
登録年度 05	登録番号 0002